

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年4月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690800075
法人名	医療法人 吉祥会
事業所名	グループホーム 奏庵
所在地	鹿児島県出水市平和町236番地 (電話) 0996-62-8186
自己評価作成日	令和6年3月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年4月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療法人のグループホームであり、老人保健施設と同敷地内にあり、緊急時の対応、医療面での安心感を得ている。職員の教育体制も整っており、施設内での研修を積極的に取り入れている。また、施設向上委員会、リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止・虐待防止委員会など様々な委員会を立ち上げ、毎月の会議で事例の検討や予防策、集計等を話し合い、スタッフ間で周知徹底を図ることで、施設サービスの質の向上に努めている。

毎年、管理者が職員と面接を行い年間の目標、評価を明確にしていることや、勉強会や研修を通して、ケアの質の向上に取り組んでいる。入居者にとっては、安心してホームで生活して頂けるよう、寄り添うケアを行なうと共に、季節の行事を大切にして、参加して頂くことで喜びの声を頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は同法人の老人保健施設や通所リハビリセンターに隣接した2ユニットのグループホームである。24時間医療連絡体制や協力体制が整っており、利用者や家族にとって健康面・医療面での安心感につながっている。
- ・法人で各種委員会を立ち上げており研修の充実を図り、資格取得を奨励し職員の資質向上やサービスの質向上につながっている。
- ・法人で地域文化祭への出品や施設行事への地域住民参加、地域夏祭りには地域の太鼓連が各事業所を回って演技を披露する等、地域との交流が盛んである。
- ・管理者と職員間のコミュニケーションが良好で、働きやすい環境となっており離職者も少ない。
- ・理念に沿った年間目標を掲げ、利用者に寄り添うケアを大切にして季節毎の行事を計画し、巻き寿司作りやそば打ち等を一緒に楽しんでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は朝礼で唱和し毎年達成に向けて目標を設定している 年度末には達成の評価をしている	法人理念が掲げられ玄関や事業所内に掲示し、朝礼時に唱和している。毎年、理念に沿った年間目標を掲げ、会議等で確認と振り返りを行い、理念に沿ったケアを実践している。年度末には評価を行い、次年度目標設定につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	文化祭などへの参加を通じて交流をしている	コロナの関係で地域行事が中止され交流が難しくなっているが、法人で地域文化祭への作品出品、地域住民の法人行事でのボランティアでの参加等の交流は継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地位の方やご家族への認知症サポーター養成講座の参加の声掛けを行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナ感染症防止のため、市の職員、民生委員・ご家族へ、資料を送付することで様々な意見を頂いている	会議は介護老人保健施設と合同で開催している。コロナの影響で書面での開催が続いているが、意見や提案など事前に文書でいただいている。出された意見や提案は職員間で共有しサービス向上につなげている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	毎回運営推進会議の資料を配付し意見を貰うことで協力関係を築いている	運営推進会議資料送付、電話や出向いての相談で連携を図っている。市からの情報はメールやファックス、法人からの情報で把握し、市主催の研修会やグループホーム連絡協議会等にも積極的に参加している。介護相談員の受け入れもある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束・虐待防止に関する研修が、毎年あり、正しく理解することで、身体拘束のないケアを行っている	指針・マニュアルがあり、法人で委員会を設置し、2ヶ月毎に委員会を開催し、事例検討や外部講師を招いての勉強会などで理解と意識の統一を図り、身体拘束ゼロを実践している。スピーチロックについては禁句マナー集を活用、特に意識しながらケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スピーチロックなど無いように毎日の唱和で注意を促し、防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度の方との関わりはないが、研修など参加し理解に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時や介護保険制度の改定時は重要事項で説明を行い、理解や納得を得られるようにしている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	重要事項に相談窓口、担当者や責任者等を明記している	利用者からは日常会話の中から、家族からは電話連絡時や面談時に意見や要望等を聞くよう心がけている。把握した情報は申し送りノート等で共有し運営に反映している。コロナの関係で面会や外出希望の相談が多い。窓越し面会から徐々にオンライン面会、居室での面会と解除に向かっている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	業務の中でも自由に意見を交わす機会を作り、システム作りに反映している	朝礼時や申し送りノート、日々の業務の中で意見や提案が言いやすい環境となっている。評価制度があり年1回の個人面談と必要時には随時面談をしている。出された意見や提案はケア会議において共有し運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	残業のない業務体制作り、毎年昇給資格手当の充実を図っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年個別の面接を行い評価をしている 自ら必要と思う外部研修に参加出来る支援をしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会開催の研修に参加している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に前施設の相談員，主治医から乃情報収集を行い、本人の不安や要望に添えるよう意向の確認に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時にゆっくりと傾聴の出来る機会を作り、心配事や要望などの確認に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・ご家族はもとより、前施設の相談員やケアマネ、主治医から意見を聞き対応に繋げている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に家事手伝いをしたり散歩することで共に過ごすようにしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時の挨拶や電話など通じて良好な関係作りに努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の行事に参加し、なじみの方と交流を支援している	電話の取次ぎや手紙等のやり取りの支援、自宅周辺や花見等のミニドライブ実施、家族の協力を得て墓参りや馴染みの美容院利用、外食等の支援をしている。グループホーム便り送付などで馴染みの人や場との関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの相性を把握してお互いの良好な関係作りを支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院、入所先へのお見舞いなど通じて、相談ごとや支援をしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々のアセスメント、カンファレンスを通じてそれぞれの思いを把握するように努めている	入居時のアセスメントや家族からの情報、日常会話の中から思いや意向の把握に努めている。意思表示の困難な場合は本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、ご家族、担当ケアマネ、主治医等から乃情報収集を行っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日介護経過記録を記入し、現状の把握を行っている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族、担当ケアマネ、主治医等から乃情報収集を行っているご家族、担当ケアマネ、主治医等がカンファレンスに参加し、ケアプランの作成を行っている	担当制となっており毎月のケア会議において情報を共有、3ヶ月毎のモニタリングと1年毎の見直し、状況に応じて随時見直しが行われている。主治医・理学療法士・薬剤師等の意見、家族面会時に合わせて担当者会議を開催して現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護経過記録、受診表、個人表など活用して、全職員で共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診の付き添いや散髪援助必要に応じて支援を行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	桜見学での外出、文化祭出品活動に参加し、地域の中で、心身の力が出せるように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日常的に主治医との連携を行っている また急変時に対応できる24時間体制が整っている	母体医療機関が主治医となっており月2回の往診、状況に応じて随時往診が受けられる体制となっている。他科受診は家族の協力を得ながら必要に応じて職員が対応している。隣接する老人保健施設の看護師や医療機関の看護師と主治医との24時間医療連携体制が整っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常的に看護職員と連絡し、報告と相談できる体制ができている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先のソーシャルワーカーと連携をとり心配のないように努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合の指針を文章にして説明し同意を貰っている その都度主治医を交えてリスクやターミナル時の意向を確認している	指針・マニュアルを整備し、契約時に説明し同意を得ている。状況に応じて主治医より説明を行い、家族の意向を確認して医療機関や老人保健施設への移動も含め意向に沿った対応を行っている。看取りの事例もあるが医療機関への希望も多い。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを作成し、対応できるようにしている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、昼夜想定しての避難訓練を実地している 災害時は同施設との連携を図れるようにしている	昼夜想定での総合避難訓練を併設する老人保健施設と合同で実施。内1回は消防署立ち合いとなっている。緊急連絡網があり法人全体で協力体制が整い、備蓄は法人で管理している。自家発電設備があり事業継続計画（BCP）も作成している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人前での声かけを配慮し、トイレ誘導時はドアを閉めるなど徹底している	マニュアルがあり年間計画で権利擁護や接遇研修等を計画し実施している。入室時や入浴・排泄介助時には誇りやプライバシーを損なわないよう声かけや対応に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴の意思確認や、着替えを選んで貰うなど自己決定の場面を作っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のペースに合わせて、希望に添った援助に努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洗面時に鏡を見てもらい、散髪援助や身だしなみを整えるように支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の形態、好みを把握して「頂きます」の当番や準備から片付けを一緒に行っている	旬の食材を使用して行事食や誕生日の希望食を提供、巻き寿司やそば打ちをしたり、下ごしらえの手伝いやテーブル拭き等を一緒に行っている。テーブルには季節の花を飾り、食事が楽しめるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量のチェック、お茶の時間を作っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアをその方に応じて支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その方の排泄パターンを把握して支援している	排泄パターンを把握し、日中はトイレでの排泄を支援している。夜間帯は個々の状況にあわせてポータブルトイレ使用やパット交換等で自立に向けた支援を行っている。パットの種類の検討と声かけ誘導でおむつ費用の軽減、改善した事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日を決めずにその方の意思を確認している また表情や気分に応じて声かけをしている	月曜日から土曜日の午前中週2回、体調や気分に合わせて個々人のタイミングでの入浴となっている。シャンプー・リンス・ソープは本人持ち込み。気分転換にゆず湯やぼんたん湯等、入浴を楽しめるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ひとりの時間の確保や、無理の無いようにレク活動や散歩など取り入れている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	既往や薬状を把握して、配薬のミスの無いようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事手伝いやレクの工夫、工作や園芸などその方の楽しみごとに応じて支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	花が好きな方が多く桜見学やあじさい見学などドライブを計画している	天気の良い日には希望で庭の散歩や外気浴を実施。年間計画で桜やコスモス・あじさい等の花見やドライブを実施している。家族の協力を得て墓参りや外出・外泊の支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持が難しい方が多く、ご家族と相談して必要に応じて預かるなど支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族からの電話や手紙のやりとり支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに一緒に作った絵を飾るなど季節ごと張り替えるなど工夫している 中庭では食事会もあり開放感を演出している	共用空間は広く開放感がある。リビングにはテーブル・椅子・ソファを置き、好みの場所で過ごしている。壁には季節の手芸作品を飾り、中庭もある。室温湿度の調整、換気システムがあり快適に過ごせる環境になっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席やソファの場所を工夫し、その方に応じてくつろげる場所作りをしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や家具などご家族と相談している	居室にはベッド・タンス・クローゼット・洗面台が備えられている。家族の写真や手芸作品・ラジオ・時計等、それぞれを持ち込み、居心地よく過ごせる環境となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり、バリアフリーであり、必要に応じて離床センサーを使うことで安全を支援している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない